

環境に“E”お買い物

学校の関連学習単元

小 3/ 社会 はたらく人とわたしたちの暮らし
小 5/ 家庭科 生活を支えるお金と物

プログラム 概 要

対 象

幼 小1 小2 小3 小4 小5 小6 中学 大人
○ ○ ◎ ◎

分 野	時 期	時 間	人 数	場 所	講 師	費 用
廃棄物	通 年	45 分 (1 時限)	40 人 (1 クラス)	家庭科室等	1 人	無 料



廃棄物

ねらい

- ・環境ラベルの意味を知り、環境に配慮している商品を見分けられるようにする。
- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）の必要性を知る。

実施内容

- ・環境に配慮した買い物についての説明を聞く。
- ・買い物ゲームを行う。
- ・環境に配慮した商品選びのポイントを振り返る。

使用する材料・道具

◇受講者が準備するもの ◆講師が準備するもの

◇長机等

(買い物ゲームで使う商品を
並べられる台)

- ◆買い物ゲームで使う商品
- ◆買い物かご
- ◆買い物カード
- ◆鉛筆のサンプル
- ◆ワークシート

講座活用のワンポイントアドバイス

- ・買い物をする時には、いろいろな商品選びの基準がある中で、「環境に配慮しているか」という点に着目した講座内容です。
- ・「環境に“E”生活」のプログラムと併せて受講することで、買い物や住まい（暮らし）と環境とのつながりを学ぶことができます。

実施機関

浜松市環境政策課（浜松市環境学習指導者）

下記連絡先へ実施日の 2 か月前までに申し込んでください。浜松市環境学習指導者を講師として派遣します。実施の決定後、事前打合せが必要なため、講座実施の 1 週間前までに講師へご連絡ください。

問合せ・申込先： 浜松市環境政策課 TEL：053-453-6149 Mail：kankyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp
申込方法はホームページをご覧ください。



プログラムの展開例

時間	内 容	指導のポイント
導入 5分	○買い物での商品選びの着目点について説明する ① 買い物で商品を選ぶとき、何を基準にしているか問いかける。 (例)100 円の小遣いでどの鉛筆を買う？ ・鉛筆(無地) 50 円 ・キャラクター鉛筆 60 円 ・消しゴムつき鉛筆 70 円 ・FSC® 認証鉛筆 90 円 ② 選んだ理由を発表してもらう。 ・値段 ・デザイン ・性能 ・「環境に“E”(いい)」＝環境に配慮している	・鉛筆を選ばせるとき、具体的な説明はせず、自由に選ばせて、選んだ理由を聞いていく。 ・物を選ぶ時、人によって様々な基準があることを伝え、その中で環境に配慮しているかという点に着目して買い物をしてもらい、環境ラベルなどについて説明していく。    
体験 30分	○買い物ゲームをする ＜ルール＞ 買物カードにある商品を「環境に“E”(いい)」という視点から選ぶ。   ① グループに 1 枚ずつ買い物カードを配る。 ② ルールを説明し、グループごとに買い物カードで指示された商品を選ぶ。 ③ 商品を選び終わったら、どんな点に着目して商品を選んだか、その理由をワークシートに記入する。 ④ 商品の着目点をグループごとに発表する。 買い物カード ・ノート ・シャンプー ・野菜 	 ・どの商品を選ぶか迷っているグループには、商品に記載されているマークなどを比べながら選ぶよう支援する。 ・発表された理由以外の留意点や着目すべき点がある商品について補足説明する。 (例) ノート：『R100』は、再生紙 100% で作られている。 シャンプー：詰め替えボトルは、ごみが少ない。 野菜：地元産で旬な野菜は、運ぶときも作るときも少ないエネルギーですむ。
まとめ 10分	○環境に“E”(いい)商品選びのポイントを紹介する ・つくる(何からできているか) ・運ぶ(どこで作られたか) ・使う(使ったあとは) ・リデュース(捨てるときに出るごみの量はどうか) ・リユース(繰り返し使えるか) ・リサイクル(再生利用できるか)	・「環境に“E”(いい)」というのは、物ができるところから使い終わった後までを考えることが重要だということを伝える。 ・具体例を挙げて説明するとわかりやすい。

